

第11回吹田市政策会議開催結果について

日時:平成29年3月21日(火)14時15分から14時45分まで

場所:特別会議室(本庁舎高層棟4階)

政策会議構成員8名の出席

(市長、春藤副市長、池田副市長、総務部長、行政経営部長、中川理事、税務部長、会計管理者)

○案件名	○担当及び関連する部局名
吹田市公共施設総合管理計画(案)について	行政経営部 資産経営室
○審議内容と結果	
【案件概要】 本市がこれからも、持続可能であるためには、中長期的な視点から変化し続ける社会情勢に適切に対応することが必要です。 本市では、学校や公民館などの一般建築物、道路や上下水道などのインフラプラント系施設を含めた公共施設について、施設の老朽化の進展や人口構成をはじめとする社会情勢の変化を見据え、公が必要なサービスを、将来にわたって提供し続けることが出来るように、最適化の取組を進めています。 このように本市独自の取組を進める中、総務省から各自治体に対し、「公共施設等総合管理計画」を策定するよう要請がありました。 吹田市公共施設総合管理計画(案)は、これまで取り組んできた一般建築物及びインフラ・プラント系施設の基本的な考え方を整理しながら、取りまとめました。 また、本計画を全庁的な取組として浸透させるとともに、市民にとって愛着がもてる公共施設を目指すため、計画の愛称を「好いた施設ええプラン」と定めるものです。	
【所管部の考え方】 本計画の策定にあたっては、全庁横断組織である吹田市公共施設最適化推進委員会及びその下部組織である一般建築物最適化検討作業部会及びインフラ等連絡調整作業部会で議論を重ね、進めてきました。 今後は、本計画に基づき、公共施設を総合的かつ計画的に管理することにより、すべての人の暮らしを支えてまいります。	
【審議事項】 吹田市公共施設総合管理計画(案)について	
【審議結果】 行政経営部より、資料に基づき審議事項について説明があり、その後質疑応答を行った。 質問・・・総務省からの指針においては、計画を策定する際にどのような項目を盛り込むこととされているのか。 回答・・・大きく分けるとすると、記載すべき項目と努力義務的な項目があり、記載すべき項目については、今回すべて盛り込む形となっている。 質問・・・公民館が多数設置されているなど、本市の特徴や事情に関して記載されているか。 回答・・・現状や課題等を記載した項に、記載している。 なお、本市における具体的な状況については、個別施設計画で触れられている。個別計画の上位に位置づけられる本計画は、これらの個別計画を取りまとめる性質のものである。今後、個別計画を修正等した場合には、個別施設から本計画にフィードバックし、必要に応じて改正することも想定している。 質問・・・国の要請を受けて計画策定をしたというだけでなく、本市では以前から、それぞれの分野で個別計画を持ちながら公共施設の管理を行っていた。このことについては、計画に記載されているのか。 回答・・・「はじめに」のところで、以前から一般建築物とインフラ・プラント系施設の最適化に取り組んでいて、今回、計画を策定したことを記載している。 まとめ・・・本案件について、所管部の考え方は承認された。手続きを進めることとする。	